

9月22日(金)の朝、4日間お世話になったホストのご自宅を出て次の目的地に出発します。美味しいお食事を頂き、楽しく語り合い、静かに眠り、毎日精力的に歩き回りました。このお宅をホストは「普通の家です」と言われますが、少なくとも日本の10倍スケールが大きいでしょう。もし、敷地百坪の家に住んでいるとすれば、アメリカでは千坪に住むことになります。

道路に面して木立の植え込みがあり、芝生が広がって、間隔を取って家が立っています。この地区はコロニアルスタイルの歴史的保存地区とのことで、建替えなどには条件、制限があります。隣家との境は木立です。木造2階建てで、玄関にはポーチがあり、同じ形の窓がついています。壁は白か薄めの中間色のペイントです。ガレージ前に広い駐車スペースがあります。ホストのお宅は築後135年とのことですが、築後300年の家もご近所がありました。



裏庭も芝生が広がり、木々が高く伸びています。芝刈り作業は大変な気がします。ガレージも家と同じくらい大きく見えます。庭の片隅にアシジのフランシスコの彫像がありました。



玄関のホールを入ると一階は書斎、リビング、ダイニングがグランドフロアとして一体化しています。家族の写真がたくさん飾られ、ほのぼのとした心温まる空間です。家具はもちろん、食器、調理器具も大きく、頑丈で、重く、力がいらす。時代ものの家具がお好みとのことです。キッチンや作業室がドアで仕切られています。2階に廊下があり、寝室とバスルームがあります。



ラウリーは海沿いの町です。午後に湿原、港の公園に散歩に出かけました。夕食には名産のロブスターとコーン、英国から引き継いだ伝統のフィッシュ&チップスをたっぷり頂きました。

